

## 第Ⅱ章

# 公民館で人権学習を展開するために



足利市織姫公民館女性学級「アイヌ民族の伝統と文化」より

### 第Ⅱ章の構成

Ⅱ-1 確認してみよう 人権学習を進める組織づくり

Ⅱ-2 企画してみよう ワークショップを取り入れた人権学習

Ⅱ-3 一緒にやってみよう 地域指導者の活躍

Ⅱ-4 自分でやってみよう 視聴覚教材の活用

本章では、公民館で人権学習を展開するために必要な事柄について、事例を交えながら紹介していきます。

まず、公民館で行われる人権学習が、行政全体から見るとどのような位置にあり、どのような役割があるかを確認する必要があります。そのため、組織づくりについて考えていきます。

次に、学級・講座を参加型にするためのワークショップ実践事例を紹介し、さらに、地域指導者や社会教育関係団体との協働により、地域の特色を生かした事例を紹介します。

最後に、公民館職員自らが取り組んだ事例として、フィルムフォーラムを紹介します。

第Ⅲ章でも示すように、学習者同士のコミュニケーション促進や学習のまとめなど、公民館職員の働きかけによって、人権学習をより魅力的にすることができます。

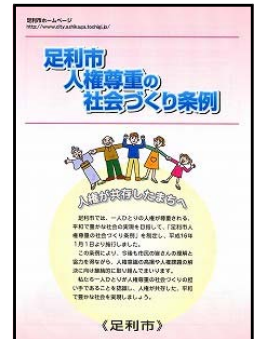
これらと併せて公民館職員の役割を考えていきたいものです。

公民館で人権学習を展開するために

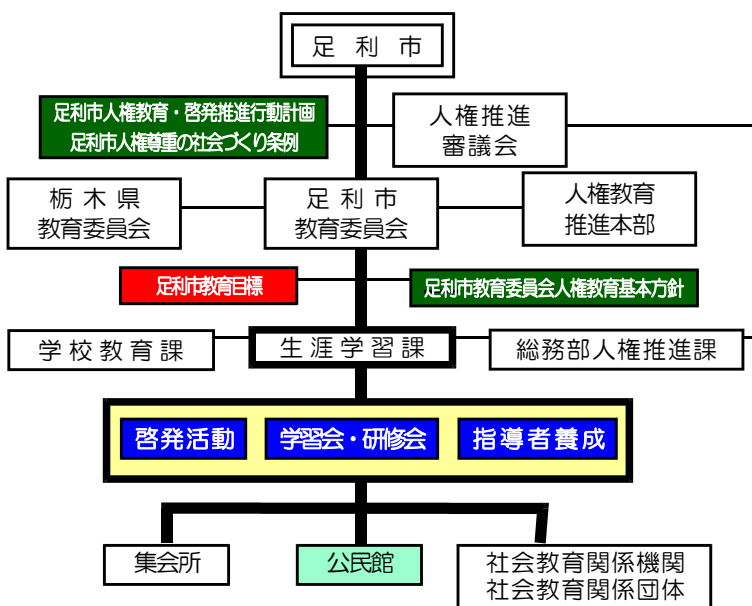
確認してみよう 人権学習を進める組織づくり

公民館は生涯各期に対応した多様な学習機会を提供する場として、人権教育の拠点となるべきところです。では、公民館で人権学習を進める際にどのようなことに配慮していったらよいのでしょうか。

ここでは、県人権教育研究推進地域（平成17年度～18年度）に指定された足利市の取組を例に、そのポイントを紹介していきます。



教育委員会でどのように進めいくのか・・・まず、推進体制づくりから



足利市では、首長部局（人権推進課）と教育委員会とが連携し、あらゆる場を通じた人権教育・啓発を全庁的に推進しています。

教育委員会では、人権教育に関する総合的かつ具体的施策の実施を推進するため、「人権教育推進本部」を設置し、社会教育部会、学校教育部会、家庭教育部会、職場教育部会の4つの部会により、学社連携の視点に立った人権教育の総合的推進に努めています。

**指導者養成**  
生涯学習課が主管となり、人権教育指導者養成講座、幼保小中学校人権教育研修会、社会教育関係機関・団体指導者人権教育研修会を開催しています。

**学習会・研修会**  
公民館、集会所、社会教育関係機関・団体で各種学級・講座を開催しています。特に、公民館では、家庭教育学級、青少年学級、成人大学等の学級・講座や公民館利用団体研修会、サークルリーダー研修会等の様々な学習機会を設け、人権教育を展開しています。

社会教育でどのように進めていくのか・・・次に、年間計画を

次に、生涯学習推進計画（足利市教育目標）に基づいて、毎年、社会教育分野における人権教育年間事業計画『足利市の社会人権教育』を作成し、重点施策を定めています。

- 【平成17年度 社会人権教育の重点施策】**
- (1) 公民館における人権教育の充実
  - (2) 人権教育推進本部、社会・家庭教育推進部会における啓発活動の推進
  - (3) 集会所事業の推進
  - (4) 指導者の養成及び研修の充実
  - (5) 啓発及び指導資料の充実
  - (6) 学校教育及び家庭教育と連携強化



## 公民館でどのように進めていくのか・・・そして、具体的計画を

足利市には 17 の公民館があります。すべての公民館において人権学習が展開されるよう公民館における人権教育年間事業計画を作成しています。



### 【平成17年度 公民館における人権教育基本方針】

- (1) 公民館活動（学級・講座）に人権に関する多様な学習機会を位置付け、計画的に推進する。
- (2) 地域の関係機関・団体が人権教育を積極的に推進するよう支援する。
  - ・PTA・青少年育成会・老人クラブ・女性団体等
- (3) 学習者が主体的に取り組めるような内容や方法を工夫する。
  - ・人権問題の正しい認識を図るために、被差別体験者の話を聞いたり、視聴覚教材や各種調査等の資料を活用したりするなど、感性に訴えた啓発を工夫する。
  - ・講師による講義だけでなく、少人数による話し合いや参加体験型学習等を取り入れ、本音で話し合える場をつくる。
- (4) 公民館職員が人権教育の実践者となるための研修の充実を図る。

### 学級・講座における人権教育の推進

下記のように、公民館で行われている各種学級・講座の1コマに人権学習の機会を位置付けています。 【平成16年度実績 81回、4,096名】

学級・講座	実施期間	対象	方法	内容
家庭教育学級	年間計画に位置付けて実施	24学級生	・講話 ・視聴覚 ・話し合い・交流 ・体験 ・実習 ・ワークショップ	・人権問題の正しい理解 ・差別を許さない社会意識づくり ・差別解消に積極的に取り組む意欲と実践力の育成
女性学級		22学級生		
高齢者学級		19学級生		
青少年学級	随時	7学級生		
各種講座		受講生		

### 社会教育団体における人権研修会の開催

毎年、4つの公民館を指定し、その区域内の社会教育関係団体における人権教育研修会を支援しています。 【平成16年度実績 12回、1,920名】

公民館	期日	主題名	方法	指導者	団体名	参加者
山前公民館	4月23日	人権感覚とは ビデオ「心のメガネ曇っていませんか？」	視聴覚・話し合い	公民館長	集会所運営委員会	30
	5月27日	高齢者にかかわる人権	講義・ワークショップ	安足教育事務所 社会教育主事	老人クラブ・高齢者学級生	48
	9月21日	障害者の人権 車椅子利用者との交流	講義・実習	社会福祉協議会	PTA、女性学級受講生	22
	12月15日	子どもの人権 子どもに聞いてみたいこと	座談会	大学講師	地区社会福祉協議会、地区社会教育振興委員会、PTA	65



(公民館職員研究会部会での情報交換)

### 足利市生涯学習課社会教育主事さんの話

足利市では、公民館での事業を円滑に進めるために、公民館職員研究部会を組織し、定期的に研修会を開いています。

その中で、人権教育の目的や意義について共通理解を図るとともに、よりよい講座を開設するための方法や講師についての情報交換を行っています。

これらの情報を受け、それぞれの公民館で地域の実態を勘案して講座を組み、効果的な人権教育が行われるようにしています。



## 公民館で人権学習を展開するために

### 企画してみよう ワークショップを取り入れた人権学習

人権教育を推進するためには、日常生活において人権問題を直感的にとらえる感性や、人権尊重を基本においた態度や行動に現れるような人権意識をはぐくむことが大切です。

そのためには、講義形式の学習も大切ですが、一人一人が学びの主体として参加し、「気付き」や「経験」、「ふりかえり」を大切にするワークショップ（参加体験型学習）も効果的な手法の1つです。

ここでは、公民館の学級や講座でどのように人権学習が取り組まれているか、ワークショップ（参加体験型学習）を取り入れた実践事例を紹介します。

#### 人権学習としてのワークショップとは

学習者自身が人権に関する自らの知識や体験をもって様々な活動（アクティビティ）に積極的・主体的にかかわり、学習者相互の気付きや考えを共有しながら、実践的に人権意識を高め、日常生活における行動化への意欲や技能（人権スキル）の向上を目指す学習活動

#### ワークショップのよさ

私もあなたも学びの主人公。

普段意識していない自分に気付いたり、新たな発見ができたりします。



学び合いやコミュニケーションを大切にするので、学習に対して満足感や充実感が得やすくなります。

#### ワークショップの3つの構成要素

ワークショップは、3つの構成要素（アイスブレイキング・中心となる活動・ふりかえり）から成り立っています。

ワークショップの3つの構成要素とそれを貫くコンセプト

(○は、一つ一つの学習活動を示しています。)

統一したコンセプト

アイスブレイキング  
(学習の雰囲気づくり)

- 学習者と講師、学習者同士の交流やコミュニケーションを図る活動
- 学習テーマに対する下地づくり活動

中心となる活動

- 気付きや見直しを与える活動
- 学習を深めたり、広めたりする活動
- 学びの分かち合い、共有化を図る活動 等

ふりかえり

- 気付きや感想を基にした学習者自身のまとめ

詳しくは、平成12年3月発行の『ワークショップのススメ 社会同和教育指導資料-』P3を参照

というわけで、公民館講座で実施したワークショップ（参加体験型学習）のプログラム事例を紹介します。



平成13年3月発行『人権学習アイデア集』、平成14年3月発行『人権学習プログラム集』、平成15年3月発行『じんけん学びガイド』も参考にしてみてください。

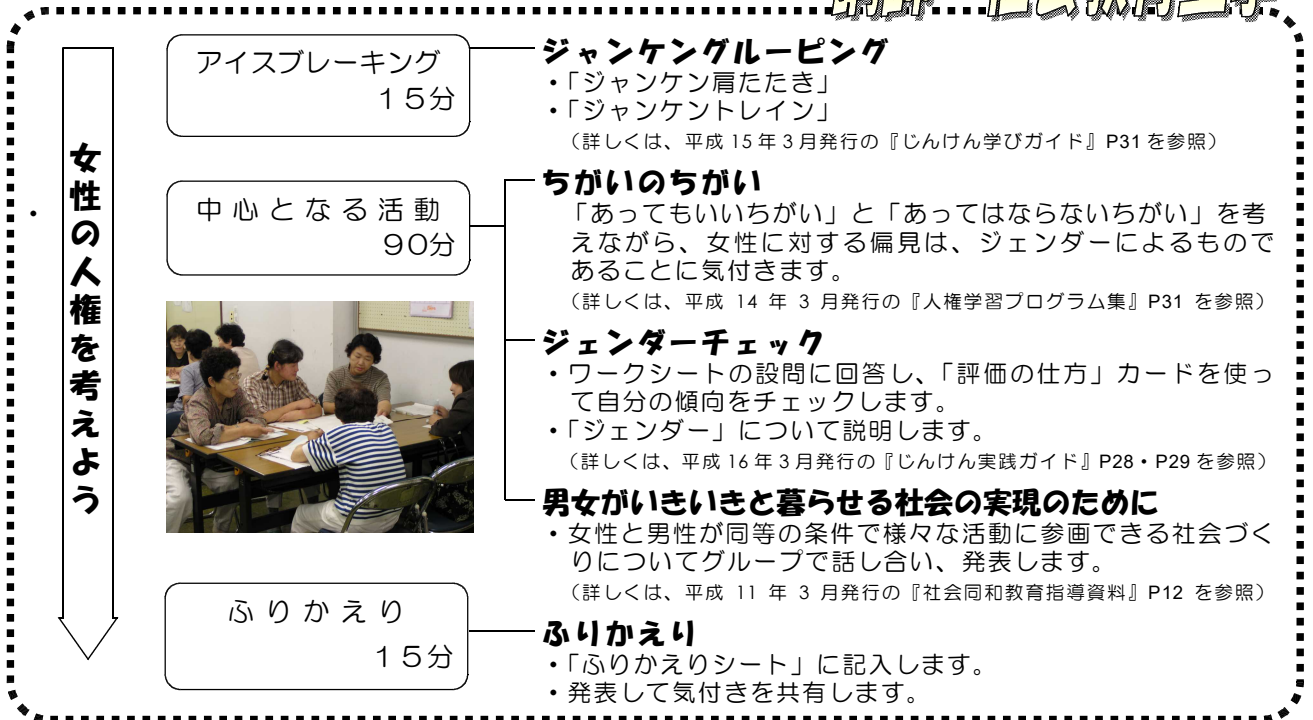


# 実践事例 1 女性の人権を考えよう（大田原市湯津上地区公民館女性学級）

県人権教育研究推進地域に（平成 16 年度～ 17 年度）指定を受けた大田原市（旧湯津上村）湯津上公民館女性学級では、身近なところに男女の人権にかかわる問題が存在していることに気づき、男女が協力してよりよい社会を築き上げることを目的に人権学習を行いました。日常生活の中で何気なく見過ごしていること、当たり前のように感じている事柄について考えるきっかけとなりました。今回は、「女性の人権を考えよう」をテーマに、ファシリテーターは社会教育主事が行いました。

**講師：社会教育主事**

## 学習の流れ



## 那須地区ふれあい学習出前講座プログラムメニュー

那須教育事務所ふれあい学習課

No.	学習テーマ・内容	分野・形態・時間	対象・適正人数	準備していただく物
12	女性の人権を考えよう 女性に対する固定観念に気づき、男女が仲良く暮らす社会実現を考える。	人権教育	教職員	模造紙、マジック 付箋紙など
13	身近な人権について 思い込みやステレオタイプに気づき、身近な人権感覚を磨く。	ワークショップ 約 120 分	保護者 30 名程度	
14	充実したシルバーライフを目指して かけがえのない自分に気づき、充実した人生を送る目標をもつ。	高齢者教育 ワークショップ 約 120 分	高齢者 30 名程度	

### 運営担当者の願い、評価

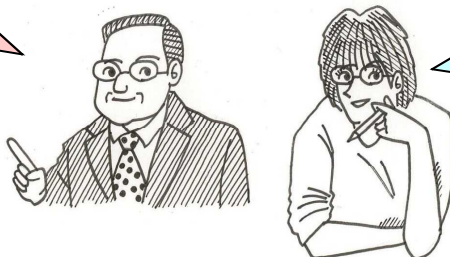
・何でも話し合える雰囲気の中で活動することができたかな。

### 実施後の反省

・中心となる活動に、十分に時間を確保したつもりだったが、実際には、時間が足りなくなってしまった。

### 気を付けたこと

・専門用語は、できるだけ分かりやすい言葉で説明するようにお願いした。  
・夜の講座だったので、終了時刻を厳守した。



### 学習者の感想・意見

・まだまだ、男性だから、女性だからという考え方をしている人も多いと思う。こうした研修を通して、いろいろな方々と話し合うことも大切だと思いました。

## 実践事例 2 充実したシルバーライフを目指して（那須塩原市ハロープラザ高齢者学級）

那須塩原市ハロープラザ（公民館）では、高齢者学級の1コマとして人権学習を行いました。今回は、「充実したシルバーライフを目指して」をテーマに、かけがえのない自分に気づき、充実した人生を送ることを目的にワークショップを実施しました。ファシリテーターは、事業担当者である社会教育指導員が行いました。

### 学習の流れ

講師：社会教育指導員

充実したシルバーライフを目指して

アイスブレイキング  
20分

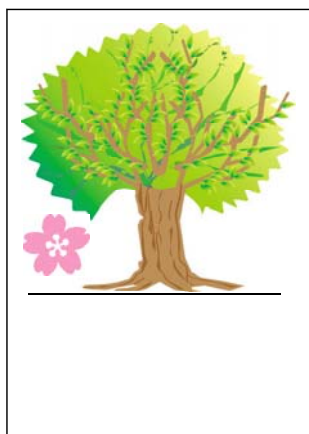
#### こだわりのナンバー

（詳しくは、平成14年3月発行の『人権学習プログラム集』P5を参照）

中心となる活動  
85分

#### お似合いのイニシャル

- ・自分の名字、名前の頭文字を使い、「自分をプラスに表現する形容詞」を考え、用紙に記入します。
  - ・考えた形容詞を使って、グループ内で自己紹介します。
  - ・自分を肯定的に表現したことについて話し合います。
- （詳しくは、平成14年3月発行の『人権学習プログラム集』P7を参照）



#### 私を肯定的にみると

- ・自分の欠点だと思うことやマイナスイメージとしてとらえていることをワークシート「否定的な私」に書きます。
  - ・「否定的な私」に書いたことを、肯定的な言い方に言い換えるとどうなるか考え、「肯定的な私」に書き直します。
  - ・活動を通して感じたことや考えたことを話し合います。
- （詳しくは、平成16年3月発行の『じんけん実践ガイド』P7を参照）

#### 希望の樹

- ・グループごとに、模造紙に描かれた「人生を表現した樹」を配付します。
- ・「人生を表現した樹」の地面に、自分を成長させてきたものを各自で考え、書き込んでいきます。
- ・これからやってみたいことを「花形シート」に書き、模造紙の樹に貼っていきます。
- ・これからの人生をより充実したものとするためにはどうしたらよいかを話し合います。

（詳しくは、平成14年3月発行の『人権学習プログラム集』P7を参照）

ふりかえり  
15分

#### ふりかえり

- ・「ふりかえりシート」に記入します。
- ・発表して気づきを共有します。

#### 学習者の感想・意見

- ・これまでの人生で自分をほめることを考えたことがありませんでした。これからは、ポジティブに生きていきたいと思えます。



#### 運営担当者の願い、評価

- ・学習者に新しいことを発見させたり、自分自身を再発見したりするような刺激を与えることができたかな。

#### 実施後の反省

- ・一つ一つのアクティビティが充実した分、時間不足になってしまった。ワークショップでは余裕をもった計画にしたい。

#### 気を付けたこと

- ・「花形シート」のデザインや色づかい・大きさを工夫し、活動への意欲を高めた。



**実践事例3** **にこにこママでありたい!** (足利市梁田公民館乳幼児学級)

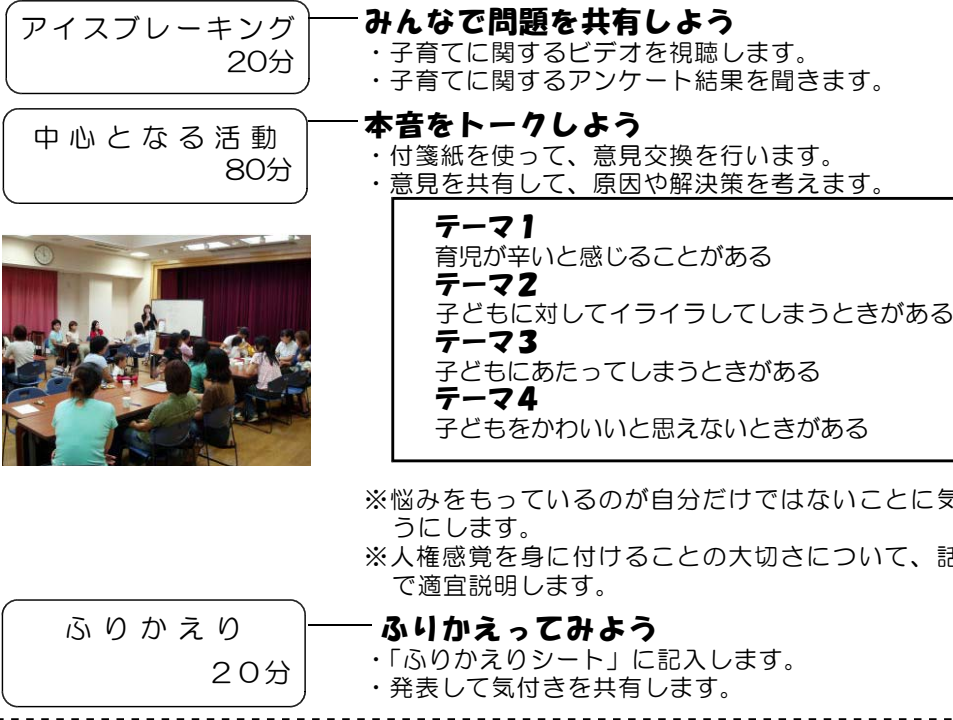
足利市梁田公民館では、子育てで抱える多くの悩みについて、その原因などを出し合いながら解決策を考えることを目的に、乳幼児学級(のびのびセミナー)を行いました。

今回は、地域の子育てサークル「足利0123歳」との協働企画により、ワークショップ形式で実施しました。この活動を通して、母親自身が自己肯定感(自尊感情)をもつことの大切さを理解しながら「子どもの人権」について考えていきました。

**講師: 市民サークル**

**学習の流れ**

子育てにおける人権を考える



※悩みをもっているのが自分だけではないことに気付けるようにします。  
 ※人権感覚を身に付けることの大切さについて、話し合いの中で適宜説明します。

ママ業は365日24時間、休む暇もなし。当たり前のことかもしれないけれど、ストレスも疲れもたまります。そこへ襲いかかる、いたすら・わがまま・兄弟ゲンカ・寝ぐずりや夜泣き。成長過程だから仕方ないと分かっているけど、つい、「イライラママ」になってしまいます。でも、やっぱり「にこにこママ」でありたい、と思う方は多いはず。今回は、梁田公民館の乳幼児学級受講生のみなさんと一緒に、イライラの原因と解決法を考えてみました。みなさんはどうですか? 「足利0123歳」機関紙 Vol.14 にこにこママでありたい! 特集 H17.10.31発行より

**運営担当者の願い、評価**

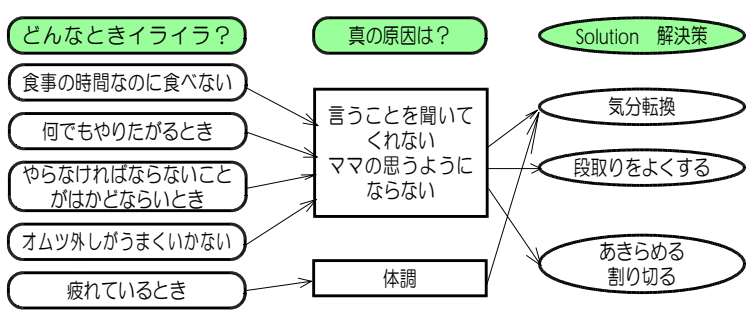
- とても和やかな雰囲気の中で、ふだん思っても言えなかった本音を語ってもらえたことはよかった。

**実施後の反省**

- たくさんの意見が出されたため、話し合いの時間が足りなくなりました。いくら時間があっても足りないという声もあった。

**気を付けたこと**

- 事前の講座で人間関係づくりをした上で実施した。
- 子どもと一緒に来ている参加者がいるので終了時刻を厳守した。



**学習者の感想・意見**

- 参加したお母さんたちからいろいろな話が出て、悩んでいるのは自分だけではないことに気づきました。
- 育児のストレスのために心の余裕がなくなると、子どもの人権など考えられなくなってしまいます。今回参加して一緒に考えた解決策などを参考に、「にこにこママ」でいられるようにしたいと思います。



## プログラム例

# だれもが暮らしやすい 共生のまちとは？

ねらい

(120分)

施設内のバリアを探し、ユニバーサルデザインを考える活動を通して、だれもが暮らしやすい共生社会に向けての意識と態度を高めます。



体験的な活動を通して具体的に問題に気付く活動として、「フィールドワーク」があります。ここでは、いくつかのグループに分かれて、施設内のバリアやユニバーサルデザインを探す活動を組み入れたワークショップ例を紹介します。

学習者同士の交流や疑似体験を取り入れ、感性に訴えながら、「だれもが暮らしやすい共生のまち」とは何かを考えていきます。ここでは、中心となる活動を紹介します。

## 学習の流れ

だれもが暮らしやすい共生のまちとは？

アイスブレイキング  
20分

### バーステーライン

- ・コミュニケーションを図りながらグループをつくります。

### 似顔絵他者紹介

- ・相手の良いところを紹介することによって、互いに尊重し合った雰囲気での次の活動に移れるよう配慮します。

中心となる活動  
80分

### 施設ウォッチング！

- ・グループごとにフィールドワークを行います。
- ・体験して、気付いたことや感じたことを発表します。
- ・ワークシートを基に、人権が尊重されだれもが暮らしやすいまちづくりについて考えます。

ふりかえり  
20分

### ふりかえってみよう

- ・「ふりかえりシート」に記入します。
- ・発表して気づきを共有します。

## アクティビティ 施設ウォッチング！（80分）

### 活動のねらい

疑似体験をしながらフィールドワークを行い、施設内のバリアやユニバーサルデザインを探し出すことによって、共生社会について考えることができます。

### ポイント

### 活動の進め方

1 「視察ゲーム」をします。

- ・学習者の代表者7名が、2分間で玄関ホールを視察する。

Aさん	視察項目を指示せず、メモもしない。
B～Fさん	各自の視察項目について、メモしてくる。
Gさん	B～Fさんのすべての視察項目について、メモしてくる。

- ・2分経過したら7人を呼び戻し、視察結果の発表会をする。

- ・フィールドワークとは、五感を働かせながら、見たり聞いたり触れたり調べたりする活動です。
- ・Aさんは、漠然と見てきてしまい、改善点まで気付かれません。
- ・Gさんは、やるべきことが多すぎて、一人では調べ切りません。
- ・この活動を通して、良さや改善点を具体的に指摘できるためには、役割分担と鋭い感性が必要であることに気付くことができます。



2 疑似体験についての説明を聞き、グループごとに「施設ウォッチング」を行います。

- ・グループ内で視察項目を分担する。
- ・グループごとに異なる疑似体験をしながら、施設内のバリアやユニバーサルデザインを探す。

◆疑似体験の内容

A	高齢者疑似体験（未来ちゃん）
B	車椅子
C	アイマスク体験
D	子どもの目線
E	外国人

3 グループごとにフィールドワークの結果を模造紙にまとめ、全体で発表し合います。

- ・施設内のバリアの状況は？
- ・疑似体験をして初めて気付いたバリアとは？

4 ユニバーサルデザインについて、ワークシートの説明を聞き、「だれもが暮らしやすい共生のまちづくり」について話し合います。

- ①車椅子の設置場所は適切か？  
②子どもや高齢者に優しいか？  
③外国人への配慮はどこに？  
などの視察項目が考えられます。

疑似体験種目ごとにボランティアをお願いしておき、用具の正しい扱い方を習得してから出発します。

疑似体験を通しての気づきを大切にします。それは、他の人の立場に立って物事を考えられる想像力を高めることにもなります。

ユニバーサルデザインを普及することは、障害のある人もない人も、平等で、自由に活動し、自立した生活ができる「ノーマライゼーション」の実現につながります。

# ユニバーサルデザインの考え方とは？

ワークシート

## ◆どこが工夫されていますか？



## ユニバーサルデザイン7つの原則



ユニバーサルデザインとは、ロン・メイス氏によって提唱されました。障害、年齢、性別、言語等、それぞれの違いを超えて、すべての人が暮らしやすくなることを目的に考えられたものです。

- ①だれにでも公平に利用できる
- ②使う上で自由度が高い
- ③使い方が簡単ですぐ分かる
- ④必要な情報がすぐに理解できる
- ⑤うっかりミスや危険につながらないデザインである
- ⑥身体への負荷が小さい
- ⑦適切な大きさ・空間がある

バリアフリーデザイン：初めにバリア（障壁）が存在し、そこからスタートするデザインのこと  
ユニバーサルデザイン：最初からあらゆる人が使えるようにデザインすること

## ワークシートの解説例

- A 自動販売機の商品ボタンや取り出し口などが、すべて 1m 位の高さにあり、大人でも子どもでも自然な姿勢のまま利用できます。（原則⑥）
- B 手話とパソコンを使った要約の表示があるので、内容を分かりやすく伝えることができます。（原則④）
- C ドアの取っ手が上下に長く取り付けられており、身長の高い人も低い人も利用できます。（原則①）

## 公民館で人権学習を展開するために 一緒にやってみよう 地域指導者の活躍

公民館は、地域における人権教育の拠点として、地域の実情に応じた人権に関する多様な学習機会の充実が求められています。

そのためには、地域指導者の育成とともに、講師として地域の方々を迎え入れるなど、「学習（入力）」と「発揮（出力）」のダイナミックな循環を基盤とした「活躍型社会」を目指していくことが大切です。



### 人権擁護推進審議会答申 -平成11年7月29日-

「人権尊重の理念に関する国民相互の理解を深めるための教育及び啓発に関する施策の総合的な推進に関する基本的事項について」（諮問第1号答申）

- ・社会教育指導者に対する研修の一層の充実を図るとともに、指導者として、人権に関して幅広い識見のある人材を多方面から活用するなど指導体制の一層の充実を図ること。

### 地域指導者の情報を共有し、地域ならではの学級・講座にしよう

足利市では、17公民館の連絡組織として公民館職員研究部会を設置し、月1回、事業や講師等の情報交換をしています。そして、各公民館では、これらの情報を基に講師一覧表を作成し、年間計画づくりに役立てています。

#### 【足利市織姫公民館の例】

講師	講座の目的	内容	備考・担当意見
<b>アイヌ文化アドバイザー</b> (北海道出身) ・全国でアイヌの人々の人権について講演しているほか、毎年海外において少数民族であるアイヌの伝統工芸を紹介している。	アイヌ民族の伝統文化と迫害の歴史を知る。	・アイヌ民族である自分の体験談 ・ビデオ ・アイヌ伝統工芸品の展示	・自らのアイヌ民族としての体験から話題は豊富だった。 ・自然の恵は必要なだけもらい、決して無駄にしない、不必要なものは自然に返すなど、アイヌ人独特の信条などにも触れた。 ・素朴な語り口の中に味があり、惹き付けられるものがあった。
<b>ハンゲル語講師</b>	外国人の人権を理解する。	・儒教の国「韓国」と日本との考え方の違い、外国人が日本に帰化するための困難さなど	・主婦としての目線で、分かりやすく、しかも、視野広く独自の考えを講話。 ・日本人では気付かないところを教えてくれた。
<b>市内障害者施設園長</b>	障害者の人権を理解する人権学習の大切さと差別の実態を知る。	・施設の活動から ・子どもたちの人権について	・障害者とともに築いてきたワインづくりの体験談は、障害者の人権について考えるよい機会となった。

#### 【足利市梁田公民館の例】

講師名	講座の目的	内容	備考・担当意見
<b>英語教師</b>	人種に対する偏見をなくす。	・ペルーの孤児院で教鞭をとった経験談 ・人種を超えた友情について	・ペルーでの貴重な経験談から、偏見や人種差別をなくすことの一助となった。
<b>要約筆記サークル</b>	手話を通して身体障害者の気持ちを理解する。	・手話でのあいさつ、簡単な歌など	・手話体験を通して、障害者の気持ちを理解することができた。

**実践事例**      **じんけんシアター**      (大田原市湯津上地区公民館家庭教育学級)

地域における人権に関する多様な学習機会の充実のために、地域指導者が活躍している事例を紹介します。公民館の出前講座として幼稚園を会場に家庭教育学級を開催し、大田原市の図書館ボランティアの方々を講師に迎え、親子人権学習会を実施しました。

# 図書館ボランティアによる人権学習

人権に関する民話や童話、童謡、創作絵本などをもとに、人形劇や歌、パネルシアター、読み聞かせなどを実施しました。

子どもたちには人権尊重の精神の芽生えをはぐくむように、また、保護者には人権の大切さや人権意識を高めることをねらいとしています。



- 対象：家庭教育学級生、岩舟台幼稚園児      計 72 名
- 場所：岩舟台幼稚園講堂
- 講師：図書館ボランティア
- 内容：

時間	方法	作品名
7分	読み聞かせ	『ありがとうにありがとう』
15分	人形劇	『三びきのやぎ』
10分	読み聞かせ	『とんねるのなかのあくしゅ』
15分	パネルシアター	『さるかにがっせん』
8分	読み聞かせ	『バイバイいじめっこ』
5分	講話	子どものじんけんについて

いじめっこザルと正直ザルの行動を通して、思いやりの心、自制する心、相手の気持ちに共感する心など、バランスのよい豊かな心をはぐくむことの大切さに気付きます。

※これらの民話、童謡、創作絵本は、すべて人権に関わる内容です。

**学習者の感想・意見**

・ほくは、ともだちとあそんでいるときがいちばんたのしいよ。これからもみんなとなかよくするよ。

**運営担当者の願い、評価**

・人権に関する多様な学習機会の提供という観点から取り組んでみました。ねらいに迫れたでしょうか？

**実施後の反省**

・ふりかえりについても、何らかの方法で実施しなければなりません。

**気を付けたこと**

・人権に関する学習会として成立するよう教材の選定を工夫した。また、話を聞く雰囲気をもたせよう運営に心がけた。

**学習者の感想・意見**

・楽しく、また、有意義な研修でした。素直な気持ちで話を聞きました。子どもの人権もとても大切ですね。





人権学習で担当者が比較的すぐに取り組めるものの1つに視聴覚教材による学習があります。

視覚に訴えることにより、学習者は集中して学習できます。しかし、ただビデオを上映すればいいというわけではありません。目的をもって行いましょう。

また、担当者が、上映の前後に活躍する場面をつくってはいかがでしょうか。学習者と担当者が一緒になって学習を創造することにもなるでしょう。

ここでは、フィルムフォーラムについての利点、進め方、留意点について紹介します。

### フィルムフォーラムとは

研修の課題やテーマにせまる映画やVTR等を学習者全員が視聴し、その前後に学習者同士が討議等をするスタイルの学習会です。討議の方法は、バズセッション、パネルディスカッション等、人数や位置付けなどによって工夫します。討議に代えて講師によるレクチャーと質疑というような方法もあります。

#### フィルムフォーラムの利点

- 家庭や学校、地域社会など身近にある様々な人権問題について共感的な理解をする有効な方法です。
- 学習者に感動を与えるとともに、問題の在り方を具体的にとらえて考えることができます。
- 学習者の日常生活とからめて考えることができるため、多様なテーマに対応することができます。

一人一人が大切にされ、自由に発言ができ、居心地がよい環境、こんな環境をつくることも担当者として心がけたいものです。人権教育の3つの内容の1つに**人権が尊重された雰囲気や環境をつくる**ことが挙げられています。学級・講座等を民主的な雰囲気で行うことが大切です。

そのためには、**担当者が導入（アイスブレイキング）やまとめを行い、積極的にファシリテーターの役割も果たしていきましょう。**

担当者も学習者と一緒に学習をつくっていくことが大切です。

#### フィルムフォーラムの留意点

研修のねらいや目的を明確にして、それに対応した教材を選定します。

自分で実際に試写をして、視聴のポイント・話合いの観点などを考えます。



時間配分を考慮して、話合いの時間が十分に確保できるようにします。

討議はできる限り少人数で設定し、グループごとに助言者を付けるなどの工夫をするのもよいでしょう。

## フィルム（VTR）の選定

適切なフィルム（VTR）を選ぶことも容易なことではありません。県教育委員会で所有しているリストは、『人権教育基本資料』に掲載されています。その他にも市町村、市町村教育委員会、各地区視聴覚ライブラリーが所有するものも数多くあります。

(13) 県視聴覚センター・教育事務所等所有16mmフィルム、ビデオテープ一覧  
 (平成17年8月現在)

凡例：○時間は上映時間(分) ※時間は収録時間(分) 〇は収録済、△は未収録

No.	タイトル	収録時間	備考	国	県	市	町	村	都	道	支	庁	その他
1	大地の青い日 第1部	90:45	同和問題	○									
2	大地の青い日 第2部	75:45	同和問題	○									
3	大地の青い日 第3部	43:45	同和問題	○									
4	陽だまりの家	50:54	同和問題										
5	雲が晴れた日	42:54	同和問題										
6	光の輪	32:54	同和問題										
7	まぐら草の語	54:55	同和問題										
8	憲法と人権の歴史	35:45	同和問題										
9	憲法の話	62:56	同和問題										
10	憲法は生きている	39:49	同和問題										
11	憲法を守りながら	37:54	同和問題										
12	コソコソの国で	54:53	同和問題										
13	国を愛する	43:55	同和問題										
14	いのちの国	43:55	同和問題										
15	やがては国	39:48	同和問題										
16	いのちの国	40:52	同和問題										
17	みんなの同和問題	36:40	同和問題										
18	明日の国	45:52	同和問題										
19	若手もまはさけ	43:53	同和問題										
20	ひらけ、のびるの輪	50:55	同和問題										
21	ひらけ、のびるの輪	54:56	同和問題										
22	親と子の朝	43:50	同和問題										
23	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
24	春の国	54:54	同和問題										
25	夢はとどいてくると	39:49	同和問題										
26	まぐら草の語	54:55	同和問題										
27	けやきの樹	53:56	同和問題										
28	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
29	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
30	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
31	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
32	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
33	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
34	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
35	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
36	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
37	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
38	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
39	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
40	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
41	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
42	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
43	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
44	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
45	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
46	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
47	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
48	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
49	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
50	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
51	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
52	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
53	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
54	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
55	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
56	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
57	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
58	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
59	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
60	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										
61	あやうげな子どもたち	43:54	同和問題										



P51～P61に掲載されています。

選定に迷ったときには、気軽に教育事務所に相談してみましょう。



## 利用されている主なフィルム（VTR）

### 【国や栃木県で制作したもの】

フィルム名	時間	テーマ	備考
雲が晴れた日	53	同和問題	栃木県
直子のプローチ	23	同和問題	栃木県
輝ける山脈 (16mmフィルム)	57	同和問題	栃木県
ほくがおいちゃんて おいちゃんがほく	42	高齢者	栃木県
私たちの人権宣言	50	子ども	法務省
プレゼント	15	子ども	法務省
この街で暮らしたい	32	外国人	法務省
えせ同和行為排除のために	30	同和問題	法務省
夢の箱	50	外国人	法務省
翔太のあした	54	女性	法務省
新時代へのステップ	29	同和行政	法務省
風のひびき	54	障害者	法務省
新しい世紀に向けて	28	同和行政	総務庁
菜の花	30	同和問題	総務庁

### 【平成17年度に県教育委員会で購入したもの】

フィルム名	時間	テーマ	備考
陽だまりの家	42	高齢者	北九州市
めばえの朝	41	同和問題	北九州市
仮免許 練習中	30	人権一般	神戸市
ソーテサワサワ	34	外国人	長野県同教
エールを贈るバス	29	障害者	共和
ひびけ！和だっこ	22	子ども	北九州市
ごめんね、ミーちゃん	12	人権一般	東映
きずだらけのりんご	23	人権一般	ジャパンホームビデオ
人権に向き合うための6つの素材	27	人権一般	東京都
差別っていったい何やねん	30	同和問題	メディアア
マイ・プロジェクト	60	人権一般	滋賀県
旅立ちの日に	40	障害者	北九州市
心のキャッチボール	23	人権一般	北九州市
人権入門 日常から考える10のヒント	23	人権一般	東映

## フィルムフォーラムの進め方

- ① 導入 … 視聴の前に、研修の内容や目的についての説明をしたり、課題に関する学習を行ったりします。視聴のポイントを明確にしましょう。
- ② 視聴 … フィルム等の上映をします。
- ③ 討議 … 上映映画について討議を行います。
- ④ 評価 … 討議の内容等について、学習者の自己評価や講師によるまとめを行い、評価をします。

### 進め方の例（およそ2時間の研修）

映画を学習の**中ごろ**に利用する学習会が多く実施されているようです。P29 に実践したワークシートがあります。参考にになりますよ。



#### ◆ 映画を学習の<はじめ>に利用する場合

10～20分	<b>適 宜</b>	10分	40～50分	5～10分
導 入	<b>映画視聴</b>	休憩	事後学習	まとめ

#### ◆ 映画を学習の<中ごろ>に利用する場合

30～50分	<b>適 宜</b>	10分	20～30分	5～10分
導入・事前学習	<b>映画視聴</b>	休憩	事後学習	まとめ

#### ◆ 映画を学習の<おわり>に利用する場合

50～70分	10分	<b>適 宜</b>	5～10分
導入・事前学習	休憩	<b>映画視聴</b>	まとめ

## 実践事例 人権教育研修会（「雲が晴れた日」を使ったフィルムフォーラム）

### 今回の人権教育研修会のねらい

- ・ 同和問題をはじめとする様々な人権問題の現状について考え、差別意識の解消を目指す。
- ・ 人権尊重の精神の基盤とした明るい地域社会を築くために、互いの立場や気持ちを認め合い尊重しながら、共に生きようとする態度をはぐくむ。



この作品は、栃木県、栃木県教育委員会が平成10年度に制作したものです。私たちは、だれでも幸せに暮らしたいと願っています。そして、豊かなものにしていくために、家族や友人などの様々な人とのかかわりの中で助け合いながら生きています。しかし、日ごろの生活を振り返ってみると、人のためによかれと思ってしたことが、逆に相手を傷つけ、心を踏みにじってしまうことなどがあります。また、相手に対して自分の価値観や決めつけで判断することによって気付かぬうちに偏見をもち、様々な人権に関わる問題を生み出しているのではないのでしょうか。

人と人が助け合うということは、互いの人権を尊重してこそ成り立ちます。そのことを中学生の主人公の目を通して描き、「共生と人権」という問題を身近なものとしてとらえることができる作品です。

VTRは、県内すべての教育事務所にあります。上映時間53分です。



# 人権教育研修会資料

## 1 後出しジャンケン

### 2 人権感覚を磨き、人権意識を高めましょう

- (1) 人権とは？
- (2) 差別とは？ … 人間の尊厳を傷つける。自由を奪う。平等を侵害する。
  - ・ ばかにする
  - ・ 仲間はずれにする
  - ・ いじめる

### (3) 人権課題とは？

女性 子ども 高齢者 障害者 同和問題 アイヌの人々 外国人 HIV 感染者やハンセン病患者等 刑を終えて出所した人 犯罪被害者とその家族 インターネット 性的指向 ホームレス 性同一性障害 など

※ 社会的弱者や少数者の立場になって考える。

※ 正しい知識をもつこと。

## 3 フィルムフォーラム

- (1) VTR視聴『雲が晴れた日』栃木県・栃木県教育委員会（53分）

ア あらすじ（略）

イ 登場人物関係図（略）

ウ 視聴のポイント

※ 偏見や差別を乗り越え、自分らしく幸せに暮らすために懸命に生きる登場人物より、互いの人権を認め合い尊重することはどういうことか、共に生きるために大切なことは何かを考えましょう。

- (2) 話し合い

## 4 ふりかえり

P33 を参考にしてください。

法務省人権擁護局より毎年出される「人権週間 強調事項」を参考にするのもよいでしょう。



2005 年啓発活動重点目標・人権擁護委員周知ポスター

視聴のポイントは、ねらいに基づいて設定しましょう。

学習者が発表し合い、様々な考え方を分かち合うことが大切です。

思いやりとは、相手の生き方や思いを尊重し、自然な形で支援することなのかなあ。

共に生きることの大切さが分かった。日常の会話から見直していきたい。

同和問題は、まだまだ解決されていません。この問題について一層理解を深めなければならぬと思いました。

女性に対しての固定観念や外国人の方々に対して偏見があったことに気付いた。



障害者に対して、よかれと思って言ったりしたりすることが、相手の心を傷付け、踏みにじってしまうこともあるのだと思った。



・ 教育事務所の社会教育主事の先生と話し合いながら企画しました。  
 ・ 講師を依頼しないで、担当者である自分が研修を進めることになりました。初めてのことで不安だらけでしたが、学習者のみなさんに助けられながら、一緒になって考えることができました。  
 ・ 次回は、この地域にある人権問題について考えていきたいと思っています。



「指導の手引き書」には、シナリオや学習の展開例が掲載されています。有効に活用しましょう。

## 視聴覚教材の問い合わせ先（借用手続・内容確認等）

人権に関する視聴覚教材の相談は、教育事務所ふれあい学習課に  
問い合わせしてみましょう。



### ◆栃木県

人権同和対策課（県庁内）028-623-3024

### ◆栃木県教育委員会

総務課人権教育室（県庁内）028-623-3363

河内教育事務所（河内庁舎内）028-626-3183

上都賀教育事務所（上都賀庁舎内）0289-62-7167

芳賀教育事務所（芳賀庁舎内）0285-82-3324

下都賀教育事務所（下都賀庁舎内）0282-23-3422

塩谷教育事務所（塩谷庁舎内）0287-43-0176

那須教育事務所（那須庁舎内）0287-23-2177

南那須教育事務所（南那須庁舎内）0287-82-2909

安足教育事務所（安蘇庁舎内）0283-23-1471

県視聴覚ライブラリー（総合教育センター内）028-665-7207

県立足利図書館（足利市民会館隣り）0284-41-8881

### ▼各市町村教育委員会事務局

- ・生涯学習課（社会教育課）
- ・学校教育課 等

### ▼各市町村の首長部局

- ・人権推進課
- ・人権推進室
- ・企画課
- ・総務課 等

### ▼各地区視聴覚ライブラリー

### ▼法務局

- ・宇都宮地方法務局人権擁護課  
又は最寄りの支局
- ・栃木県人権啓発活動ネットワーク  
協議会ビデオライブラリー  
(人権擁護委員さんに相談  
するのもよいでしょう。)

## (財)人権教育啓発推進センター（人権ライブラリー）



人権教育啓発推進センターは、法務省及び文部科学省共管の公益法人として、広く人権教育・啓発に関する情報提供を行っています。人権ライブラリーは、法務省委託により(財)人権教育啓発推進センターが運営し、人権に関するビデオ・DVD等の貸し出しをしています。

どなたでも利用することができ、インターネットにより教材を探すこともできます。貸出期間は1か月以内で、料金は無料です。郵送による貸出しも行っていますが、郵送料については別途必要となります。

連絡先

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-10-12 秀和第3 芝パークビル 4F

TEL 03-5777-1919(直通) FAX 03-5777-1954(人権ライブラリー専用)



- 問い合わせ、相談等をするときには、次のようなことを伝えましょう。
  - ・フィルムフォーラムのねらい（テーマ） ・対象者の年齢層
  - ・研修日、時間（上映時間）、場所 等
- いくつか紹介していただいた場合や初めての視聴覚教材であれば、試写をして内容を確認しましょう。
- 借用の手続きや予約を忘れずに確認しておきましょう。  
(16mm フィルムの場合には、『16 ミリ映写機技術習得証明書』が必要です。)